



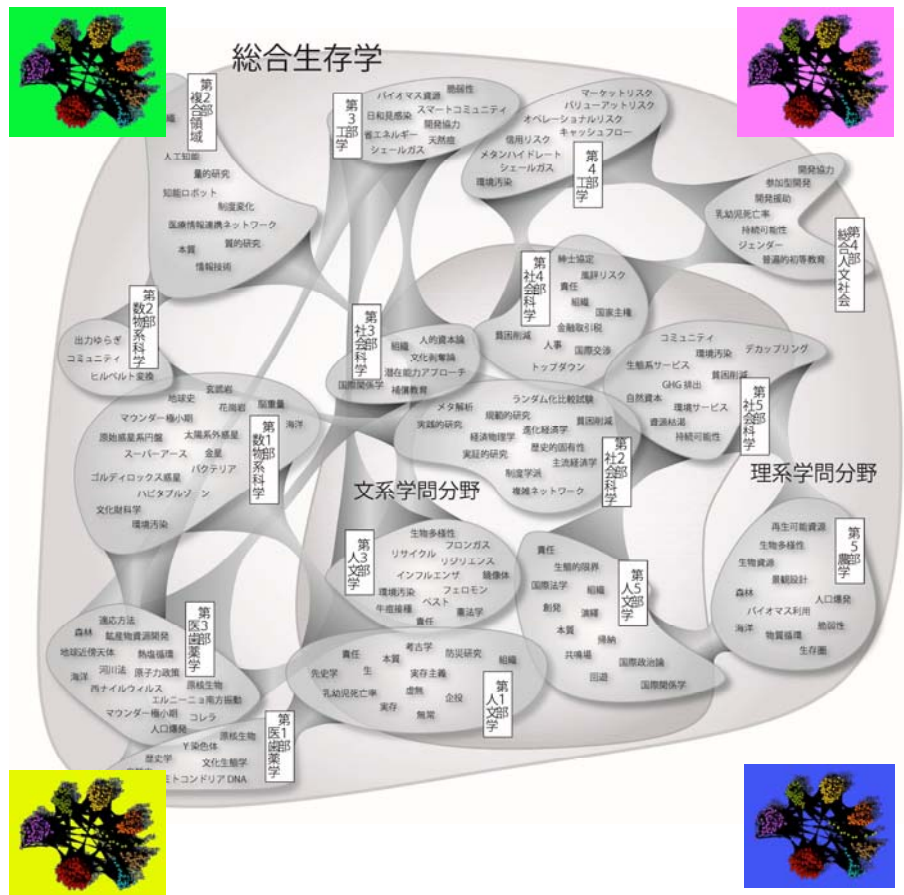
第2回 総合生存学ミニワークショップ

京都大学大学院総合生存学館ネットワーク社会研究会

ネットワーク統計推論を用いた 新しい記述形式アンケートの紹介

◆新しい社会調査の方法を一緒に考えます。回答者に文章で答えてもらう記述形式のアンケートは、非常に自由度が高い反面、集計の精度とスケラビリティの難しさがあります。

◆我々が「投票クラスタリング」と呼んでいるアンケートシステムは、回答の集計をネットワークの推論問題に変換することで、その両方の問題を解決します。アンケートの仕組みを紹介すると共に、どんな問題に適用できるか一緒に議論いたします。



主催： 京都大学大学院総合生存学館 ネットワーク社会研究会
 日時： 2016年11月1日(火) 17:00-19:00
 場所： 京都大学百周年時計台記念館 会議室 I
 講演： 池田裕一(京都大学大学院総合生存学館 教授)
 川本達郎(産業技術総合研究所人工知能研究センター 博士)
 参加費用： 無料
 定員： 18名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加申込:事前にメールでタイトルに<第2回ミニワークショップ参加>と書き、氏名・所属(できれば連絡先も)をご記入の上、以下まで 申し込んでください。18名に満たない場合は当日でも申込みは可能です。
 申込み先:e-mail: gsais-workshop@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp